

## ■児童・生徒の学力の状況

○全国学力・学習状況調査において、多くの教科で全国・東京都の平均正答率を上回っており、特に記述式問題や基礎的な知識・技能の定着に強みが見られる。

○国語：文章の全体像や構成を把握する力、自分の考えを文章で書く問題の正答率が高い傾向にある。

○数学：数式や図形等の基礎・基本の理解度が非常に高く、全国平均を大きく上回る成果を出している。

○回答結果より「授業内容がよく分かる」「タブレット等のICT端末を活用して意見共有や調べ学習ができています」と回答した生徒の割合が非常に高く、意欲的に授業へ参加する姿勢が定着している。

## ■授業革新推進に向けた、指導上の課題

意欲的に学習に取り組む生徒が多い一方で、教科書等から読み取った知識・考えを自分の言葉で相手に伝える表現活動（OUTPUT）や、毎時間の「めあて」の達成状況を「話す・書く」ことで振り返る時間を授業内で十分に確保できていない点が指導上の課題である。授業改善に向けChromebook等のICT機器を全教科・全教員が日常的かつ効果的に活用し、生徒主体の学びへ転換していくための工夫がさらに求められている。

## ■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○探究的・主体的な学習の推進：基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させつつ、自ら課題を見つけて解決する「問題解決型・探究型」の授業づくりを進めます。

○協働的な学びの充実：一人一人が自分の考えを持ち、友達との意見交流や話し合いを通じて高め合い、多様な考えに触れながら深まる「対話的な学び」を推進します。

○「板橋区授業スタンダード」の定着：「めあて」の提示から「振り返り」までの流れを徹底し、見通しを持った学習活動を全校で統一して行います。

## ■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

## 視点1

板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組

○全教科で「本時のめあて→自力解決→集団解決・意見交流→まとめ・振り返り」の授業スタイルを徹底します。

○学習のゴールと振り返りの時間を必ず確保し、生徒自身が「何ができるようになったか」を実感できるようにします。

## 視点2

ICT環境の適切な維持と活用  
個別最適な学び・協働的な学びの実現

○デジタル教材や学習アプリ等を活用し、個別学習や家庭学習とのスムーズな連携を図ります。

○少人数授業やグループワークを取り入れ、個に応じた支援と生徒同士の教え合い・高め合いの場を設けます。

## 視点3

総合的な学習の時間との連携

○各教科で培った「読み解く力」や「情報をまとめる・伝える力」を、地域課題学習や探究活動（総合的な学習の時間）に活かします。

## ■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

## 保幼小接続・小中一貫教育の推進

近隣小学校（金沢小・加賀小等）との連携を深め、9年間を見通した単元配列表に基づき、「地域学習」や「キャリア学習」等の探究的な学びを系統的に推進します。また、「板橋区授業スタンダード」に基づいた小中共通の学習規律や「ふりかえり」の習慣化を図り、中学校入学後もスムーズに主体的な学びへ移行できるよう接続を強化します。

## 豊かな心と健やかな体の育成

道徳・特別活動や地域人材を活用した体験活動を通じ、多様な考えに触れて互いを尊重し合う人権意識や福祉の心を育みます。授業内でのグループワークや振り返り（話す・書く活動）を充実させ、生徒同士の高め合いを促します。あわせて、日常的な運動機会の確保や体育授業の工夫により、心身ともに健やかな生徒の育成を目指します。

## 多様な教育的ニーズへの対応

Chromebook（すららドリル等）や電子黒板を効果的に活用し、学習の自己選択やペースに応じた個別最適な学びを提供します。特別な支援を要する生徒や登校に課題のある生徒に対し、ICTを活用した授業情報の共有（板書写真の共有等）やスクールカウンセラー・SSW等の専門スタッフと連携した支援体制を構築し、全ての生徒の安心感と達成感を保証します。